

## 社団法人 日本病院会 平成20年度 第1回定例常任理事会 議事抄録

日 時 平成20年4月26日(土) 13:00～17:00  
会 場 社団法人 日本病院会 5階会議室  
出席者 山本 修三会長  
池澤 康郎、佐藤 眞杉、堺 常雄、大井 利夫、村上 信乃、宮崎 忠昭 各副会長  
林 雅人、宮崎 瑞穂、石井 暎禧、梶原 優、齊藤 壽一、末永 裕之、松本 隆利、  
武田 隆久、大道 道大、中島 豊爾、土井 章弘、安藤 文英、宮崎 久義  
各常任理事  
柏戸 正英、中川 正久 両監事  
加藤 正弘 代議員会議長 野口 正人 代議員会副議長  
奈良 昌治 顧問  
高久 史麿、岩崎 榮、鴨下 重彦、奥村 元子(久常節子会長の代理) 各参与  
宮下 正弘、高橋 正彦、藤原 秀臣、関口令安、岡留 健一郎、星 和雄、  
佐合 茂樹 各委員長  
西村 昭男、柴山 勝太郎、三浦 將司、福田 浩三、成川 守彦、細木 秀美、  
各支部長  
(新入会会員)  
倉本 秋 高知県・高知大学医学部附属病院 院長 (19.12.15 入会)  
本間 章 千葉県・東葛病院 院長 (20.2.23 入会)  
前川 清継 熊本県・朝日野総合病院 院長 (20.2.23 入会)  
平川 秀紀 山形県・山形市立病院 済生館 館長 (20.3.22 入会)

総勢 46 名が出席

池澤副会長の議事進行により会議に入った。

開会に際し山本会長から、平成20年度の診療報酬改定により、各病院の経営主体別により格差が生じる改定となった。本会として、日病協を通じ、診療報酬改定の検証を図り、次回改定に繋げたいと述べた。挨拶後、会員入会された4施設を紹介し、各施設長から施設紹介を頂いた。

会員施設紹介後、山本会長から、会議定足数として、定数25名中、出席17名、委任状4通、計21名(過半数13名)で会議が成立している旨の報告後、議事録署名人に林 雅人、梶原 優 両常任理事を選任し議案審議に入った。

### 〔承認事項〕

#### 1. 会員の入退会について

池澤副会長から、前回の役員会後、正会員の入会2件、正会員の退会10件、賛助会員の入会1件、特別会員A入会1件、賛助会員の退会3件の届出について説明後、届出の入退会を承認した。

(正会員の入会2施設)

1. 山形県・市町村・公立置賜総合病院 (520床)

2. 大阪府・市町村・市立堺病院（493 床）

（正会員の退会 10 件）

1. 宮城県・公益法人・仙台循環器病センター
2. 宮城県・医療法人・太白さくら病院
3. 東京都・共済及連合・東京都職員共済組合青山病院
4. 東京都・医療法人・信愛病院
5. 石川県・医療法人・栗津神経サナトリウム
6. 長野県・日赤・長野赤十字上山田病院
7. 愛知県・医療法人・神谷病院
8. 大阪府・医療法人・今川病院
9. 大阪府・医療法人・新しいずみ病院
10. 和歌山県・医療法人・古梅記念病院

（賛助会員の入会 1 件）

1. A 会員・東京都・(株)リブドゥコーポレーション

（特別会員 A の入会）

1. 大阪府・西満クリニック

（賛助会員の退会 5 件）

1. A 会員・東京都・(株)ビー・シー・エル
2. A 会員・東京都・パーク 24 株式会社
3. A 会員・東京都・(株)又星設計
4. D 会員・東京都・浅田善朗
5. D 会員・大阪府・御牧弘子

（役員慰留により退会を撤回 2 件）

1. 北海道・国立大学法人旭川医科大学病院（慰留者：西村 昭男 理事）
2. 沖縄県・沖縄県立北部病院（慰留者：石井 和博 理事）

平成 20 年 4 月 26 日現在

正会員	2,666 会員
賛助会員 A 会員	95 会員
B 会員	98 会員
D 会員	41 会員
特別会員 A	245 会員

## 2. 関係省庁および各団体からの依頼等について

池澤副会長から、下記依頼事項について逐一説明後、依頼事項を審議した結果、すべて承認した。

（継続：後援、共催等 5 件）

- ①平成 20 年度「愛の血液助け合い運動」（厚生労働省）の後援名義使用依頼
- ②第 16 回日本療養病床協会全国研究会（日本療養病床協会）の後援及び開会式の出席依頼

- ③HOSPEX Japan2008 第 37 回日本医療福祉設備学会 併設展示会（日本能率協会ほか）の協賛依頼
- ④米国医療情報システム実態調査団（流通システム開発センター）の共催名義使用依頼
- ⑤蓄熱月間（ヒートポンプ・蓄熱センター）に対する協賛依頼
- （継続：顧問・理事、評議員等）
- ①顧問（神奈川県病院協会）の継続就任依頼  
委嘱者：山本 修三 会長
- ②理事・評議員（医療関連サービス振興会）の継続就任依頼  
委嘱者・理事：齊藤 壽一 常任理事  
委嘱者・評議員：池澤 康郎 副会長
- ③委員会委員・部会委員（医療関連サービス振興会）の継続就任依頼  
池澤 康郎 副会長（運営委員会委員、倫理綱領委員会委員、開発委員会委員）  
林 雅人 常任理事（評価認定委員、寝具類洗濯部会委員、患者給食部会、院内清掃部会委員、保守点検部会委員）  
齊藤 壽一 常任理事（在宅酸素供給装置の保守点検部会委員、医療機器保守点検部会委員）
- （新規：委員委嘱・後援・協賛）
- ①医業税制検討委員会（日本医師会）委員の就任依頼  
委嘱者：関口 令安 理事
- ②第 50 回全日本病院学会（第 50 回全日本病院学会 東京大会）の後援名義使用依頼

### 3. 人間ドック健診施設機能評価認定施設の指定について

宮下理事から、下記 6 施設の紹介後、指定を協議した結果、承認した。

（Ver1.0 の認定施設）

- ①東京都・せんぼ東京高輪病院健康管理センター
- ②福島県・湯浅報恩会 寿泉堂クリニック
- ③京都府・社会保険京都病院

（Ver2.0 の認定施設）

- ①東京都・三井記念病院総合健診センター
- ②東京都・新赤坂クリニック
- ③東京都・牧田総合病院附属健診センター

### 4. 理事の交代について

山本会長から、近藤達也常任理事(国・厚生労働省)が 3 月 31 日付で退職されたことにより、後任に木村壯介先生を理事(常任理事)に残任期間ご就任いただくことといたした旨の説明、提案があり了承された。本件は、5 月 31 日の代議員会に上程することとなった。

旧)	国(厚生労働省)	・	国立国際医療センター	・	近藤 達也	先生
新)			〃		木村 壯介	先生

## 5. 参与の交代について

山本会長から、本会参与に就任願っている日本病院薬剤師会の伊賀会長が堀内会長に交代となり5月31日の代議員会で承認を求めたい旨の提案があり、承認された。

- ・(社)日本病院薬剤師会 会長交替  
(旧)伊賀 立二 (新)堀内 龍也

## 6. 平成20年度理事会、代議員会・総会の開催について

山本会長から、5月31日(土)開催の諸会議等の開催要領、代議員会、総会への提出議題について説明があり、承認された。

会場：東京都・中央区・ロイヤルパークホテル

(諸会議等)

会長・副会長会議	10:30~12:00	4階・霞
理事会	13:00~14:50	3階・ロイヤルA
代議員会・総会	15:00~16:20	3階・ロイヤルB
特別講演会	16:30~17:30	3階・ロイヤルB
懇親・懇談会	17:40~19:00	3階・ロイヤルA
記者会見	18:10~18:30	4階・霞

(代議員会・総会提出議題等)

- ・平成19年度事業報告書(案)の承認に関する件
- ・平成19年度収支決算書(案)の承認に関する件
- ・理事の交代に関する件
- ・参与の交代に関する件

詳細については、追って別途通知する

## 7. 病院経営管理者教育委員会の新カリキュラム作業部会の設置及び委員委嘱について

山本会長から、病院経営管理者教育委員会に作業部会の新設、及び委員構成について説明があり、了承された。

## 8. 代議員の交代について

山本会長から、新潟県、岡山県の代議員の交代があった旨の報告があり、了承された。

- ・新潟県 旧)土屋 俊晶 (西新潟中央病院 名誉院長)  
濱 齋 (木戸病院 名誉院長)  
薄田 芳丸 (信楽園病院 顧問)  
新)田中 乙雄 (新潟県立がんセンター新潟病院 院長)  
上村 朝輝 (済生会新潟第二病院 院長)  
吉川 明 (長岡中央総合病院 院長)
- ・岡山県 旧)大本 堯 (前 岡山労災病院 院長)  
清水 信義 (岡山労災病院 院長)

## 〔協議事項〕

### 1. 当面の諸問題について

山本会長から、このたび厚生労働省から「医療安全の確保に向けた医療事故による死亡の原因究明・再発防止等の在り方に関する試案 一第三次試案一」が示された。この第三次試案に関し、本会としての意見を取りまとめるため、各理事あてにご意見を伺い、取りまとめを実施している現状にある。また、日病協や四病協の医療安全対策委員会としても同様に意見取りまとめを実施している現状にあると述べ、四病協の対応について大井副会長に現状報告を依頼した。大井副会長から、今回、厚労省から示された第三次試案の基本的姿勢については高く評価していると前置きし、四病協としては、平成13年3月に医師法第21条の解釈等について取りまとめ中間報告を行ったが、その後、医療事故に対する取り扱い等の環境の変化により、平成19年11月に委員会を発足させ、この問題に対する取りまとめを行っている現状にある旨が述べられた。報告後、出席役員から、第三次試案についての意見拝聴を行い、本会の考え方を早急に取りまとめることとした。

## 〔報告事項〕

### 1. 各委員会等の開催報告について

各委員会の開催報告が述べられました。

#### (1) インターネット委員会（第4回・3月26日・報告者：武田常任理事）

①視察調査の報告について：京都Promed画像診断センターを視察し、CT、MRI等読影の指示を調査。②Web会議システムによる日病講習会の運営について：6月に開催される「医療安全管理者養成講習会」の第1クールから第6クールの計6回を試験運用することとした。③ロゴマーク募集について：募集要領をホームページに掲載対応することとした。

#### (2) 雑誌編集委員会（第12回・3月27日・第1回・4月2日報告者：星委員長）

(3月27日)

①日病雑誌4月・5月号の企画・編集について：特別寄稿として、邊見中医協委員から「平成20年度診療報酬改定の答申を終えて」と題し掲載。②英文広報誌について：No27号の発刊を了承。

(4月2日)

①日病雑誌5月号及び6月号の企画・編集について：堺秀人先生が3月22日の常任理事会で講演された「診療行為に係る死因究明制度創設の現況」、特別寄稿として石井孝宜監事からの「社会医療法人の概要その要件と認定取り消しについて」を掲載。

#### (3) 日本診療録管理学会・編集委員会（第1回・4月2日・報告者：大井副会長）

①優秀論文の内規について：内規（案）の一部修正を図った。②ロゴマーク選考の件：締め切りは5月としており、現在の応募状況について報告。③学会誌（目次）の英語版をホームページに掲載。

#### (4) 診療情報管理士教育委員会・専門課程小委員会

（第1回・4月18日・報告者：大井副会長）

①平成20年度の教育について：教科書改訂、レポート問題集修正等の業務について確

- 認。②診療情報管理士へのアンケート調査について：第2回目を実施し、取りまとめについては、第34回日本診療録管理学会時に発表。
- (5) 平成19年度コーディング勉強会（19年5月11日～20年3月24日開催分・報告者：大井副会長）  
全国17会場、116回、4,781名の受講。
- (6) 感染症対策委員会（第1回・4月4日・報告者：佐藤副会長）  
①感染制御講習会の開催について：第1クール20年6月7日（土）～6月8日（日）、第2クール20年11月8日（土）～9日（日）、第3クール21年2月7日（土）～8日（日）とした。②平成19年度インフルエンザの動向について：インフルエンザの型別分離・検出割合等の報告。③麻しんに関する特定感染症予防指針について：2012年までに麻しんを排除する目標。国立感染症研究所の「麻しん教育啓発ビデオ」を基に勉強。②、③については、ホームページ、日病雑誌を通じ会員に広報することとした。
- (7) 人間ドック施設認定小委員会/人間ドック健診施設機能評価委員会合同会議  
（4月10日・報告者：宮下理事）  
①人間ドック健診施設評価について：申請状況を報告。②サーベイヤー委員会の開催報告について：参加者112名（医師64名、その他事務系48名）。次回は、10、11月を予定。③健保連等との指定契約施設について：機能評価認定施設として認定された施設の契約を実施。
- (8) 救急医療委員会（第1回・4月15日・報告者：高橋理事）  
①救急医療アンケート調査について：集計を基に救急医療の問題点を討議。②第58回日本病院学会（山形市）時のシンポジウムについて：7月4日（金）に開催するシンポジウム「病院医療崩壊と救急医療」の中で、アンケート調査を取りまとめ報告予定。
- (9) 医療制度委員会（第1回・4月18日・報告者：石井常任理事）  
①中医協の開催報告について：3月26日の診療報酬改定結果検証部会の概要報告。  
②医療機関に於ける関係職種間の役割分担実態調査について：調査対象日を5月1日、回収期間を約1ヵ月とし調査を委員会で行うこととした。③診療行為に係る死因究明制度等について（厚労省・第三次試案）：委員との意見交換を実施。④委員からの意見提案について：医療問題に関する最近のマスコミ対応の現状報告と対応について意見交換を実施。
- (10) 医療制度委員会/医療経済・税制委員会合同委員会  
（4月24日・報告者：関口理事）  
①「医療立国論」について：大村医療経済・税制委員から「医療立国：崩壊から再生」について講演を実施。②委員からの提出意見：高橋医療制度アドバイザーから破綻寸前となっている保険財政の中での医療制度の現状と打開策が披露。
- (11) ニュース編集委員会（第4回・4月18日・報告者：宮崎副会長）  
①日本病院会ニュースの企画・立案について：「会長談話コーナー」を6月頃にスタートする。②編集協力委員（各委員会委員長）との連携について：「ハロー！委員会」をリニューアルし、初回をIT委員会、中小病院委員会、医療経済・税制委員会、救急医療委員会に願うこととした。③看護・コメディカル分野との協力について：「職域通信」

を新設した。

(12) 第 68 回診療情報管理士認定式（報告者：大井副会長）

開催要領の報告。

日時：5 月 24 日（土）午後 5 時～

会場：東京都・中央区・ロイヤルパークホテル

## 2. 四病協諸会議の開催報告について

(1) 総合部会（3 月 26 日、4 月 23 日・報告者：山本会長）

①（3/26）四病協・社会保障財源のあり方勉強会の設置について：日病から、村上副会長、石井常任理事を推薦。②（4/23）四病協・日医懇談会の開催について：5 月 28 日に予定された開催を 6 月 25 日とし、従来奇数月開催を偶数月への変更が紹介。③医療の安全確保に向けた医療事故による死亡の原因究明・再発防止等の在り方に関する試案（第三次試案）について：大井副会長から、平成 13 年 2 月に四病協として医師法第 21 条に関し中間報告を提出しているが、第二次試案、自民党（案）第三次試案が示され四病協医療安全対策委員会として委員各位にアンケートを実施し取りまとめをしている。タタキ台を作成し、委員各位の意見拝聴後、総合部会への提出対応をしている旨の報告。④メディカルスクール検討会について：堺副会長から、現在、日精協の山崎委員長がシンガポールでの実態調査に赴いている現状にあり、本会としても、真剣な討議を図り、対応を図らなくてはならないと考える。また、山本会長から、日病も含め日病協での検討も必要かと考えており、現在、厚労省の厚生科学研究事業で研究を進めている現状、「日本学術会議」での検討状況についての報告があった。

(2) 医療保険・診療報酬委員会（4 月 4 日・報告者：佐藤副会長）

①中医協の開催報告について：3 月 26 日の諸会議報告が実施された。②通知・告示への対応について：診療報酬の算定方法に関わる質疑解釈として、救急患者としての受け入れた患者が処置室、手術室等において死亡した場合は、病室に入院していなくても、死亡時に 1 日分の入院料等を算定できる等の紹介があった。③平成 20 年度の活動計画について：改定後であり、緊急的に調査する事項が無いため、しばらく静観することとした。

(3) 医業経営・税制委員会（4 月 16 日・報告者：関口理事）

①平成 21 年度税制改正要望について：重点項目として、「消費税における社会保険診療報酬等の非課税制度の見直し」「医療機関に対する事業税の特例措置の存続・拡充」「病院用建物等の耐用年数の短縮」とした。②未収金、勤務医不足等についての意見交換を実施。

## 3. 日病協諸会議の開催報告について

(1) 代表者会議（3 月 28 日、4 月 25 日・報告者：山本会長）

(3 月 28 日) ①診療行為に係る死因究明制度等について：協議事項での対応として省略。②電子的診療情報について：厚労省の「医療情報ネットワーク基盤検討会」の委員構成には、メーカー、技師等で構成され医師の参画が無い現状が紹介。③第 32 回診療報酬実務者会議の報告について：齊藤常任理事から、3 月 19 日の会議で平成 20 年度の診療報酬改定について各団体から見解を求めた。④当協議会の議長、副議長の選出について：

新議長には、山本日病会長が就任、副議長については、議長一任とした。⑤ヘパリンナトリウム製剤の自主回収について：アメリカ（中国で生産）で使用された製剤での事故に伴い、日本で流通している製剤の自主回収を行っていた。このたび国内の流通している製剤の安全性が確認されたため、自主回収の解除を日病協として厚労省に要望することとなった旨の報告。

(4月25日) ①副議長の選出について：山本新議長から、小山信彌（日本私立医科大学協会 病院部会担当理事）氏を選出した旨の報告。②診療行為に係る死因究明制度等について：第三次試案について各団体の意見を拝聴した。

(2) 実務者会議（4月16日・報告者：齊藤常任理事）

①実務者会議の委員長、副委員長の選出について：新委員長には猪口雄二（全日病副会長）氏、副委員長に、深尾立（独立行政法人労働者健康福祉機構）氏が選出された旨の報告。

(3) 医療安全全国共同行動（日本版100Kキャンペーン）打合せ会（第1回・4月14日）

①大井副会長から、アメリカで実施された「10万人の命を救え」のキャンペーン行動を2004年から開始し、全米5,500病院中、3,100病院が参加し18ヶ月の期間中に120,000人の命を護ることに成功した。日本においても医療の質・安全学会、日本病院団体協議会、日本医師会等が主催となり、キャンペーンを行うこととなった。行動目標は、日本版100Kとして目標を設定し「有害事象に関する目標」として、①医療関連感染症の防止、②危険薬の誤投与防止③周術期肺塞栓症の防止④危険手技の安全な実施⑤医療機器の安全な操作と管理、「医療安全の組織基盤形成に関する目標」として、①急変時の迅速対応と院内救急体制の確立②事例要因分析から改善へ③患者・市民の医療参加を挙げている。キャンペーン期間としては、20年5月17日から21年12月末までの20ヶ月とし、目的は、①医療の質・安全の向上を目指す取組みの普及②医療の質・安全向上の取組み成果を可視化③医療に対する患者・市民の信頼の回復とした旨の医療安全全国共同行動の趣旨、概要説明があった。

#### 4. 中医協の開催報告について

3月26日（総会・結果検証部会）、4月23日（総会）の報告は資料一読で代替とした。

#### 5. 社会保険診療報酬支払基金 第3回診療報酬情報マスター検討会の開催報告について

大井副会長から、現在、検討会では、病傷名マスターの改定が検討され、3月28日の検討会では、21,490語の収載病名となった。また、レセプト電子化の進展に伴うマスターのあり方が検討され、電子化促進に向け「標準マスターの改正」、「標準マスターの普及」に向けての活動が了承された旨の報告があった。

#### 6. WHO・ICD改訂運営会議の開催報告について

堺副会長から、4/9～4/17にスイス・ジュネーブで開催された諸会議の報告として、分野別専門部会（4/9～4/10）では分野別専門部会に加え、新たに保健情報、神経、感染症、周産期が立ち上がることとなった。ICD改訂運営会議（4/11）では運営会議の活動報告等。WHO-FIC理事会（4/14～4/15）で活動目的、協力センターの定義、規定の必要性に



についての議論が実施された旨の報告。

#### 7. 自民党議員との意見交換会の開催報告について

山本会長から、4月23日（水）に「正しいことを考え実行する会（幹事：後藤田正純 衆議院議員）」に本会から会長、副会長が全員出席し「医療の質と病院経営」に関し意見交換を実施した旨の報告があった。

#### 8. 「我が国の医療供給体制改善に向けて」について

山本会長から、日本胸部外科学会から医療の供給体制の確立等に関する提言が届いている。時間の関係上、資料をご一読願ひ、ご意見等があった場合は、提出願ひたい旨の報告があった。

#### 9. 国際モダンホスピタルショー 2008 の進捗状況について

池澤副会長から、国際モダンホスピタルショー 2008 は、7月16日（水）～18日（金）に東京ビッグサイトにおいて「健康増進で築く豊かな医療と福祉」をテーマに開催される。本会主催による催しとして、山本会長のオープニングセッション、ランチョンシンポジウム「病院医療の再生をめざして」等を予定している旨の報告があった。

#### 10. 事務局長の任免及び事務局職員の採用について

山本会長から、下記職員の採用について報告、紹介があった。

・4月1日付入社 よこやま なおいち  
横山 直一 新事務局長

ほしの まさたか  
星野 匡賢 学術部 通信教育課 配属

全ての議案審議を終了し、定刻に会議を議了した。